



西宮ユネスコ

2014.9 第141号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町8-26 西宮市教育委員会内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208）
 発行人：古 胡 博 巳 編集人：小 林 民 子



『文教住宅都市・西宮』

西宮市長 今村 岳司

西宮ユネスコ協会の皆様方におかれましては、ユネスコ憲章に基づき、教育・科学・文化を通じて、国際理解や世界平和、人類の福祉の促進にご貢献いただいておりますことに厚く感謝を申し上げますとともに、心から敬意を表します。

西宮は明治末期から住宅開発が行われ、古くから上質で暮らしやすい住宅地として愛されてきました。そして今も、便利な立地、落ち着いた環境、買物や交通の利便性、街並みのブランドイメージなどを理由として人気の住宅都市として市民に愛されています。

西宮の現在は、昭和38年の「文教住宅都市宣言」によって守られたものです。恵まれた環境と共生し

た「阪神間モダニズムの文化が薫り、教育の品質が高く、穏やかで美しく住みやすいまち」を創っていくことを、50年前の西宮の住民は選んだのです。

現在の西宮は、50年後の西宮にもいるはずの西宮を愛する市民のために、西宮の50年を照らし続けた文教住宅都市という誇らしい都市目標への敬意をあらたにし、あしたの西宮に対して果たすべき責任を考え直さなくてはなりません。

その経営者として、先人が築いてこられたこのまちをさらに発展させるのが私の請けた重い使命です。そのために、皆様の温かいご指導とご協力を心からお願い申し上げます。

(西宮ユネスコ協会名誉会長)

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

—ユネスコ憲章 前文より—

2014年度通常総会

西宮ユネスコ協会の2014年度通常総会は5月31日(土)、西宮市役所東館8F大ホールで開催されました。来賓として今村岳司市長、伊藤博章教育長、西村英雄社会教育部長、米口征代人権教育推進課長、野田昭治人権教育推進課課長補佐の5氏にご出席いただきました。

総会は、辰馬章夫会長の挨拶で始まり、今村市長、伊藤教育長からお祝辞をいただきました。なお、本年5月西宮市長に就任された今村氏は、西宮ユ協名誉会長を快くお引き受けいただきました。

議事は、辰馬会長が議長となり、2013年度の活動報告、会計および監査報告、並びに2014年度の活動計画と会計予算の案件が審議され、すべて承認されました。

総会后、ミニコンサートと会員親睦のお茶の会が行われました。ミニコンサートは、“ヴァイオリンの調べ”として三瀬由起子(京都市交響楽団)、同麻起子(大阪フィルハーモニー)の姉妹による演奏が行われました。バッハ、ベートーベンなどの曲に加え、普段あまり聴くことのない作曲家の作品を、解説を加えながらの演奏でした。

ミニコンサート終了後、別室においてお茶を飲みながらの懇親会が行われ、久しぶりの顔合わせなどもあって、楽しい懇親会となりました。

なお、出席者は総会37名、ミニコンサートは約100名でした。

新緑の伊丹散策

服部かほる

3月28日(金)10時30分青空の下、阪急伊丹駅に集合した15人の健脚メンバーは、大田氏のガイドのもと整然とした伊丹の中心街を通り抜け、先ずは猪名野神社へと向かいました。

参道入口の大鳥居は、阪神大震災で倒壊し平成8年に復興したそうです。境内にはムクロジの巨木があり、その黒い種は正月遊びの羽根つきの黒い玉に使われ、実の皮は水の中で揉めば泡が立つため、昔は洗剤として使われていたそうです。先人の知恵と匠の技に感服しながら、市指定の緑地保全地区へと進んでいく。さすが緑地保全地区とあってすばらしい風景でした。3分5分咲きの桜が上部を淡いピンクや可憐なピンクで染め、中間ではそのピンクを支えている目にも眩しい艶やかな緑、そして麓をきりりと締めているあでやかな朱色の木瓜の花、私の頭の中で描くキャンパスは、果てしなく次々と延びてまるで風景画の中に入っていくような気分でした。

しばらく行くと上池、下池がある緑ヶ丘公園へ。ここでは役目を終えた梅林が、濃い緑をいっぱいつ

けて、植木職人さんたちの剪定を受けていました。こんなにかくさんの木々の下で、目いっぱいのお弁当をしながらのお弁当はもう最高でした。

昼食の後、最終目的の昆陽池公園へ。ここは都市では珍しい野鳥のオアシス。そこかしこに白鳥、鴨、その他名も知らない野鳥が水面を埋め尽くしていました。その姿はとても愛らしく私達の日を楽しませてくれていました。概算距離、5~6kmだそうです。時間的にも距離的にもそんなに疲れることもなく、心地よい余韻を残しながら解散となりました。今日は本当に楽しい一日を過ごすことができました。

坂田記念セミナーに参加して

大前 繁雄



今年の坂田記念セミナーは、尼崎市にある「世界の貯金箱博物館」と「寺町散策」。ユネスコの行事には欠席の多い私ですが、今回は人生の多感な幼少期を過した地にもかかわらず、これまで見学したことのなかった尼崎の寺町周辺ということで、勇躍参加させて頂きました。

7月4日(金)午前10時、辰馬会長以下15名、阪神尼崎駅に集合。梅雨のさ中で少しむし暑かったですが、傘のいらない晴天に恵まれたのは幸運でした。

ボランティアガイドの方が2名来て頂いておりましたので、2班に分れて出発。最初に駅南側に立っている、昭和25年のジェーン台風来襲時の水位の高さを示す標柱に案内されてびっくり。自分の背丈をはるかに越す3メートル以上の高さで、当時の恐怖が改めて甦りました。

続いて案内された旧開明小学校は、今は廃校となつて市の一施設として活用されていますが、昔の奉安殿や教室の一部が元のまま保存されており、子供の頃のノスタルジアを感じさせてくれました。

それからいよいよ「寺町散策」です。これまでも表通りはちよくちよく往来したことがあるのですが、中に入るのは初めてです。丁度今から400年前の尼崎城築城に際して、1か所に移設もしくは新築された11か寺が並んでいます。

国の指定文化財7件、県の指定文化財5件、市の指定文化財14件という豪華さで、西宮市から電車で

15分程度の場所にこれだけ立派な文化財が集中しているのに、それを見逃す手はありません。まだ行かれたことのない方は、ぜひ訪ねられますようお願いいたします。

「寺町散策」に時間を取りすぎて、尼信の「世界の貯金箱博物館」の見学はかけ足になってしまいましたが、こちらの方もなかなか見応えがありました。古今東西の珍しい貯金箱が約13,000点、所狭しと並んでいます。尼信のOBとおっしゃる案内人の方の説明も大変楽しく、退屈させません。もちろん入場料は無料ですので、ぜひ寺町散策と合わせて見学して頂きたいと思っております。

みんなく探検

河原 敏博

国立民族学博物館（民博）を探検する催し「みんなく探検」を昨年に引き続き8月22日（金）に開催しました。西宮市内の小学生13名、中学生1名、保護者2名の参加応募がありました。当協会理事で当館名誉教授の松澤員子先生と大学での教え子の南出和余先生のご案内により、東南アジア、東アジア、日本のエリアを探検しました。

先生から初めに「民族毎に表現の仕方や生活様式などが異なっている、先祖や神様を祀ったり、祭りを行ったりする人の心はどの民族にも共通してあるものです。相違点や共通点がどこにあるかを探しながら見て行ってください」との説明がありました。

先祖を祀る祭壇に豚の足や頭をお供えする韓国・台湾と日本との違い、オムライスやうどんなどの日本食が名称もそのままに韓国に継承されていること、韓国の都市住民の生活がほとんど日本と変わらないことなど、相違点や共通点を展示やビデオ映像を通じて知ることができました。

水牛が田畑を耕す写真を見た参加者から「動物虐待や」という意見。それに対して「米を貯蔵する穀倉などにも水牛の絵を彫るなどして大事にしてきたのですよ」との先生の説明。子ども達と先生との質疑応答を通じて大人と子ども達との視点や発想の違いにも認識を新たにしました。

ユネスコ憲章前文の「戦争は人の心の中で生まれるものであるから人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とは、人との違いを互いに認め

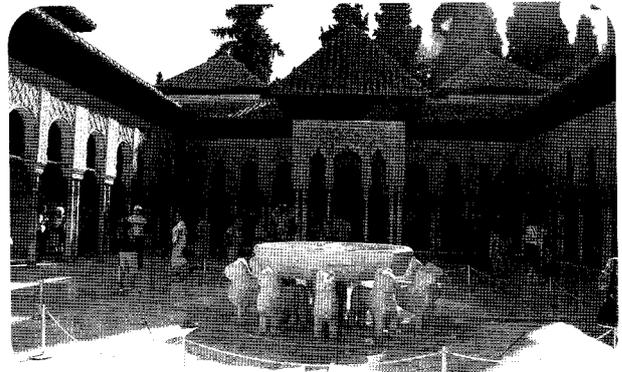


合い、思いやり、共存することだと私は思います。みんなく探検を通じて、そのことが少しでも子ども達に伝わればと願っております。

世界遺産シリーズ

イスラム芸術の粋・アルハンブラ宮殿

田岡 清志



どうしても訪れたかった世界遺産がある。スペインのアルハンブラ宮殿だ。ギターの名曲「アルハンブラの想い出」などでイメージが先行し憧れが強くなっていくばかりだった。

スペイン旅行を計画する。ラッキーなことにアルハンブラ宮殿内にある国営ホテル「パラドール・デ・グラナダ」が予約できた。超人気で何時でも満室状態なのだ。

グラナダに入りタクシーでホテルに向かう。夜の帳が降り小高い丘の上にアルハンブラ宮殿がライトアップされている。麓でチェックを受け宿泊客だけが享受できる特別な時間を過ごすのだ。ホテルは修道院の建物を改装したものでシンプルだが世界遺産の環境に調和してひっそりと佇んでいた。

翌朝、予約してあったアルハンブラ宮殿のチケットを引換に麓の案内所に行く。誰もいない宮殿内の環境を楽しみながら案内所へと散策した。とても贅沢な時間だ。チケットの引換を済ませ、見学開始までホテルで過ごす。テラスで谷を隔てた王族の別荘「ヘネラリフェ」を眺めながらの朝食はとても気持ちの良いものだ。暮らすように旅する事は理想だと言える。

定刻に宮殿に入る。グラナダは十三世紀後半にイスラム時代最後のナスル王朝の首都として栄えた。メスアールの間から黄金の間、コマレス宮へと進む。宮殿内は色鮮やかなタイルや繊細で優美な天井装飾などイスラムの栄華が感じ取れる。特に素晴らしいと感じたのはライオンの中庭で、白い大理石の列柱の回廊にはイスラム様式の装飾が施されている。列柱の先の中庭にはライオンの噴水が涼しげな水音を立てている。空間構成の巧みに圧倒される。

見学はヘネラリフェと続く。バラカ咲き乱れ清涼感のある水音のするアセキアの中庭など時の経つことを忘れる至福の時間だ。

第42回チャリティーバザー開催

2014年度のチャリティーバザーは9月14日(日)、夙川公民館で開催されました。当日は快晴、11時の開場のときには大勢のお客様が入口に列を作っていました。

今回のチャリティーバザーは、主に日本ユネスコ協会連盟の事業の一つである「東日本大震災子ども教育支援募金」に協力することを目的としています。震災により遺児・孤児となった子どもさんたち、また津波による家屋の流失や損壊などの影響で、経済状況が著しく悪化した家庭の子どもさんたちを対象に支援を行うもので、日ユ協連ではこの支援活動を震災直後から続けています。この運動は息の長い支援が必要で、私たちが根気よく頑張っていきたいと考えています。



バザーには会員の皆様はもちろん、バザーの開催を知った会員外の方からも多くの寄贈をいただきました。厚くお礼を申し上げますとともに、今後一層のご支援をお願いいたします。



事務局だより

☆書き損じハガキ・募金ご協力者 (2013.4~2014.3)

世界寺子屋運動にご協力いただき有難うございました。書き損じハガキは、切手と交換して日本ユネスコ協会連盟に送りました。

〔幼稚園〕子育て総合センター附属あおぞら 大社 高木 生瀬 鳴尾 山口 〔小学校〕瓦木 北夙川 香 櫛園 大社 高須 〔個人〕笹山淑子 坂本勝 伊達富子 辻倉正治 鶴巻和代 西口清子 平石秀人 藤原公子 山田 (株)坂下建設 その他匿名の方からもいただきました。(敬称略)

●●● 新 入 会 員 ●●●

普通会员 田中 敏夫 〒665-0011 宝塚市南口町

協会日誌

(2014年4月~
2014年9月)

- 14. 4. 3 英語教室第1期開講 (プレラ4F)
- 5.24 第33回日本ユネスコ協会連盟評議員会
(東京・朝日生命大手町ビル)
- 5.31 2014年度通常総会・会員親睦お茶の会
「ミニコンサート」
出演 ヴァイオリン 三瀬由起子
三瀬麻起子
(西宮市役所東館8F大ホール)
- 6.11 2014年度兵庫県ユネスコ連絡協議会総会
(相生・兵庫県立先端科学技術センター)
- 6.20 手作りの会
(教育委員会3F第2小会議室)
- 6.21 第65回日本ユネスコ協会連盟総会
(東京・朝日生命大手町ビル)
- 6.28 近畿ユネスコ協議会総会
(園田学園女子大学・記念館)
- 7. 4 坂田記念セミナー
「尼崎・寺町散策と世界の貯金箱博物
館見学」
- 7.17 手作りの会
(教育委員会3F第2小会議室)
- 7.18 阪神間ユネスコ協会連絡会(1)
(伊丹市立文化会館・いたみホール)
- 8.22 “みんぱく探検”(市教委・西宮ユ協共催)
(吹田・国立民族学博物館)
- 9. 4 英語教室第Ⅱ期開講 (プレラ4F)
- 9.14 第42回チャリティーバザー
(夙川公民館)
- 9.末 会報141号発行

— 今後の催しの予定 —

- 14.10.18 近畿ブロックユネスコ活動研究会
~19 in神戸
- 11. 1 国際理解講座「Ⅰ」
(西宮市役所東館8F801・802号室)
- 11. 1 第34回日本ユネスコ協会連盟評議員会
- 11. 8 にしのみやふるさとウォーク2014
- 11.17 研修見学会 天理市内
- 11.21 阪神間ユネスコ協会連絡会(2)
- 11.26 阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業
(兵庫県立“人と自然の博物館”)
- 11.29 国際理解講座「Ⅱ」
(西宮市役所東館8F801・802号室)
- 15. 1. 新年理事会・懇親会
- 1. 8 英語教室第Ⅲ期開講
- 1.17 第35回日本ユネスコ協会連盟評議員会
- 1. 文楽鑑賞会
- 2. 第19回西宮国際交流デー
- 3. 阪神間ユネスコ協会連絡会(3)
- 3. 第30回ユネスコ世界児童画展
(市民ギャラリー)
- 3. ウォーキングの会
- 3.末 会報142号発行